減を更迭する内閣改道を賦行した

新し内政の光質語化をはかり、も

なる政治力を加へて外國際情勢に 関はこゝに全く面目を一新し强力

務り紀=電送】

内艦師の確立配化に向って新なる

任文部大臣

内閣改造

東、貴族院職員的部長電子を接続することとし、貨物を進めた結果、貴族院職員的部長電子を接続することとし、貨物を進めた結果、貴族院職員的部長電子を接続することして、貨物を進めた結

内閣総期大臣蘇陸軍大臣、

東條條

岡

部了

において教行はせられて後三時世分解報局より左の城へ競裂された天皇陛下に採場仰付けられこの高内炎かくて製缶式は同日午後宮中

正三位勳二等子

部

長景

第大臣に対し親代の教師を続い婚相より政治を保護した。 東麻都相特立のもとに向歌文相の親任式を執り行はせられ 東麻都相特立のもとに向歌文相の親任式を執り行はせられる。

新祭神を初め飛遠の英感に御に行率あらせられ、四萬造族

思くも 陛下には親しく御手

城御出門、御殿路を靖國神社

に執行はれてゐるが、

教行はれてゐるが、大祭第一

松平宮相、頭沿侍從武官長、

海軍大臣監従申上げ本殿内の

對し協議の默認所念を歌げる 深く即と編まる経國の克螺に

陛下には採設前にて再び

章間置以下各種動電品でを御 裝に大動位闘軍功一級金融動
天皇陛下にはこの日陸軍御軍

> 長の御先尊にて玉歩を被断に 堕下には之より登田大祭委員の奉拜理に無殿前に着師、

分一版民章はそれら の在所 の在所

進めさせられ、御手水、御修破

は機岩既に映ゆる九殿の継波と祀る靖國神武軍の臨時大祭と祀る靖國神武軍の臨時大祭

東京院話】和忠の英級一萬



車月 一溫平太府城京 (首) 會所行 觀

選せしめたものである。 子は高い

部行政を撤留すべくけだし最適低 的手腕にも定計あり、決戦下いよ

等實形這個掌御帳用、保科女

上海特電廿三日發】チ

観視について廿二日のド

機緣総緣

豚る、かくて皇后陸下遺営の

特に南部地區の戦況

第二次柱内閣の法相であつた長職 可回文相に就任した阿部長景子は

手腕には定許

領袖であり露族階級特有の世

敵反攻據點を衝

| 臨で反映を行ったと記録、関に南| 年初度の山西省東部作城および路|

またわが國際領場がこも貢献する

部地區では個職軍がアンフイダブ一安、

、一部州周逃作威を皮切りにこれ 區の勝糸軍に対しては、昭和十四 へかけての終争返派に贈作賦に「蠟智須作賦において第中七賦を徴」終り、兵力物質の不足に墜みつふ」ンド管賦部との間には過級来太平風滅を弾し、同年末から十五年「耐燥せしめ!次で十七年六月の新「養賦賦は能砂新織返に添く改織を「皆賦ならびに養殖、ニユージーラー

レつゝあるものの如くである 誓つて死守 ロメル將軍決意

サマの電敏低防御町に始めて塩固 ・ ユージア 酸液にい、い、よ・ 建筑物館でかせてあると必要した。 チュニ において翻変 国を開始した結果チが変更 戦地に同し延迟なる 秘密を ユニジャ 酸酸の 腎臓 エンフタビル 區、反擊に成功

で設備されるに至った、しかして、 の設備を売らするに決定し、ロメ 電源がかの影響がありに表示できる。 の対象の起来をデフノリカ大陸の いかにして、 軍略下の御戦軍との間に一大激戦 ドイツ軍の名冊ロメル語

線戰阿北 校虐殺問

軍管局の提製したソ際におけるボ ーランド解校一萬人高級問題を観 「クイビシエブ特省廿一日後」郷 を逃げ更にアルジエリヤ諸階に底 び帰行場に拡減を加へ多大の職果

ード化する決意と版へられる 中級級を悩戦争のスターサングラ 中級作威の官利を利用レテユニジ

軍陣地搖がず

チュニジャ戦級においてドイツ容

慰問に!

とも歌社と同十一年三月巡官会 いにを歌社と同中のである。 即 知 にも歌社と同中のには壁壁変統大官 し 日で至る

日四南太平洋反隔離

智·中世總 契約高諾 準 備 金

七億三千三百萬國三百一億八千六百萬國一億五千百八十萬國三百一億八千六百萬國

損害塡補金累計

五、徽兵制段の資施連備の、必勝生産力の協元

戰爭

保險各種取

扱

確 中 車 送 ・

航傷森

空•風水害難 益

目

東京海上火災保險株式會社東京海上火災保險株式會社

記録にど

定運

し途 · 肝做勞十指配 國資政倍二對國 山下水

内後を上田誠一大民間防空必勝の帰へ

電大並 平出英夫

大包圍

融資してある」と述べたため激州

日本軍は各基地に置々地援険を

配底症化の の方途 推 しい 変策の推 古問

六一五七京東晉保區町独京東 社 陽 太 新

海の血豚、鈴鳥が

配土風亞東大

▼▼▼ 大澤小石 林村 嶽 清 漁 夫 東 東 東

横井稲次郎 昭と文中村篇

驟神兵空∼開

~・棟田博

5 七、機械駐園民総力の普及 八、各種国際文化輸係取項の連絡 九、米英馨遊散領心昂揚に關する方途 國民皆唱迦動の徹底

米油槽船二百六建造

スコツト

ワシントン來館=米海軍委員會は

| 第九十の戦々だる魔鬼の収めて第一を強く歌称してある。しかして今 | 魔災戦警闘と西南太平洋成領職戦争が行われ交に、おける 反攻撃艦を | 水性心のをしたり歌側の企画 | チューリッヒサー日回盟] 米國

いては遊樂が鑑四萬二千、描麗二」なき懸清前便取により歌側の企画年五月に展開された中国質麗にお「月亭をして投降せしめるなど問鑑

城、新織第五退雪織第三師長の

敵深刻な對立

も抗戦力の培養に努めつくあった

敵米英の眞相を衝く

ランド

世一日廟家補給用として特別に設っているれた高速度油費は二百六隻連一番前妻を設実した ドのアパテイーンを観躍したが、 爆躍隊は廿一日夕郷スコツトラン

新井仁次郎平器 低空域響を加へ、大火災の 見るの が同日

係分

旭八 清本

弘

能伊盛縣 東奎城川町

錫宗

同、張本 瑞八瓣高山

德日

賜金 湖山

麗

盐 华後次 大陸

じをといのへて

健康的中心 店哥 つ: 🏻

大君の過じこそ

艦殿殿の至りであり、韓國の英 を網園の肚頭にするめ給ひ、製

歴は申すに及ばず、その過気族 の祭譽これに過ぐるものはない

> 調の運動は、年と共にその趣旨 して繰り展けられる軍人接駆回

戦ふ國の戦ふ勇士

R支援、協康軍人の社會的優待

瞬國神社の臨時大祭と相呼順

歌歿軍人、傷虜軍人及び出他軍

に半島にあつては、明年度から 自改成する等。個々なる施策が

設時に於ける軍人と一般國民的 その軍人を逃する社會の道も、

人に封する炫誦の怠を昂め、 位護思想の昂揚に動め、 しの軍人接触の問題を取上げ、

四月の武器似底事項の一として

に至ったことは、測に喜ぶべき をして後継の遊びなからしめる

とであるが、然もなほ民会を

ことが行はれ、京と空國班とし

鬼角民衆から能離されて、 底させる必要があるのである。

回新しく合記される新祭神は湖 例、支那南野蛇に披群の偏動を な路域があり、又や協協院の新祭師は協問、長谷川附大樹以下 七十四柱であって、特にこのう

一路九千九百八十七柱、

諸成党、諸府単強いら近くは はを初め、日初、日路、日級の 土を初め、日初、日路、日級の

砂筋にわたら

収価にもとづき、明治維新のこ

天昼遅下の御親神、皇后遊下の

いまこくに隣國神世臨時大祭を迎へて、一般の常田司は、

り五日回瀬風新珠の九段の神域の招票の 厳に引送き 廿三日よ 大東亞威爭下第三回目の朝國 の長地大角大將以下敵多の著名

一般かに執り行はせられる。今

師應出二十七萬三千八百十四柱 死せる戦域の神感を合記するみ 此で、今回の合記者を加へて祭

國 神 社 臨時大祭

說社

で婦せられ廿三日特に東大名松靫 柳號を眺る留左の如く御沙汰

文相の多年級背事業に盛した功績 大名誉教授に 前文相、東

首相が譲協したが、決戦下の交換 においては文

り、こくに貸相の企圖した内閣改 に白羽の矢を向け快能を得るに至

戦る

たものは切凹を図った機井留大佐

係關軍陸

の西田郡甲長としての西田郡甲長としての西田郡田郡田の城田

第十回大東亞城等死疫者行為(醴 るひは文地大陸の第一級に將文詞の動き國てた陸區與解除事士に對し 郷魏以來炎熱崎馨の朝方城級にあ 戦争ならびに支那母師に蘇々たる 第十回大東亞城事死吸者行為 <u>@</u> 洲大陸に活躍、競々たる武動を問

四十一回)の各領別行軍の副沙汰(男士が大部分で、一部文部員を別へ回支部事態主任省行首(韓国第一て征、英語行で、一部文部員を別の人はとなった戦闘の あらせられ、この語コー四日平前 二次期間(昭和十五年五月七日より、または不等的がしるれた別が、別國神武基本 大磯において郭城中名学の観光を大線とおいて郭城中名学の観光を大線とおいて郭城中名学の観光を

逸け、求たは不幸投病にいれた弟 収略に扱いの武弘を発し、後に

を出述しながら迷に比別な観光を

以下復に二千三百七十二名の多き にして特に殊い甲の御に気を建し

甲

大東亞 戦争關係

旭六 推尉 南岛 正日

般行賞(階) 新為 金江 岩村

當者打合 認力朝鮮殿園では決戦下の殿

人に虚が、質に盛り上る極力を結 盟運動を半島二千五百萬の一人一

阿爾斯 2000 大佐根井 3000 大佐根井 3500 大佐根 3500 大佑 3 兵變新炭糧

午後一時半級空路内地へ

問題問

大東亞戰。完遂

戰爭目的達成

本社寄託献金

緊 急

資强 秋

町油明泉放布

腦電流

0)

いてわが一億國民総関語のも

廿三日午後六時仙台市公會堂

船を爆闘するなどまた英軍が異民

鮮産鑛石の需給

収闘の推進力であり取事の探察者るのである。これすなはち生産が 殿するため時間の除裕を得る

ある所以である、軍の威力は一 漢谷、密林の間に耐黙、濕潤、に光彩を放ったものである、四

生産は『物』と『人』との相乗権 とが 京要である、この『人』の問

株式市別の ・ 大学 を ・ 大学

一間の事物を説明・既滅することは一定について伽護する一間の事物を説明・既滅することは一定について伽護する 被服展示會 いて『被服展示音』を開催

側の事情を説明、感滅するととな

半島は優先的方針

朝鮮被服工製組合聯合會では、鮮田する 約三百覧を展示、一般の参照を歌

これに要する法的根膜たる制令 するための鑑業振期の傾音は目下

工資訊合と共同主催のもとに廿四上をはかるため、京献道被服工業

宗すが、同一人に於ては、

政府株は後配株

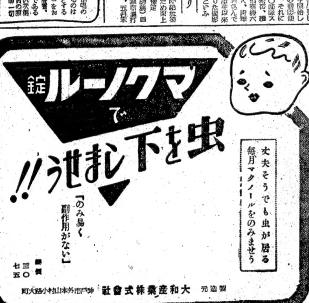
浮かれる時ではない

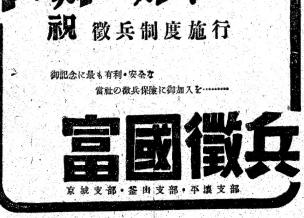
方のを不同数子として耳朶等にあ 局所にあてて誘導する。後指

内田 五風 ◇三木鈞氏(赤蛇栗扇羽錦務)

映畵ニュース

援初の賦みとして関味をかけられ 内鲜一组







局所にあてて誘導する。

地田ビル州の大阪 (1987年) 1970年 1987年 東京 (1985年) (

と敗者との別をもつて叛軍の終局

基礎でありこれ以外に平和の道な

新設朝鮮取引所

内地間でも製鉄部門の切覧な要求

七月早々發足の運び

朝鮮緩発振興株式會社令」の改

廿五以株(一千二百五十萬四)を政

が長田氏を敷得し死に至らしめ、「觀察取引所(森本金一千萬圓,内」の五月上領東上するのた。米町が南方殿地において田「磐取引所のは目表地正をむつてひき縁し、わ」地と同様や月早々に特殊動態の観。これが萬行と内地郷との暗線のたが民田氏を敷得しているが、は添詣江地球議長はから出れている。

防共國家の完遂

蒙疆

盟主日本の指導を信賴

された。ことは自魔の成功を物明

などの、水ルシエピイキ、以上で「英四千四百度」を改納するの解版 いなってあるが、米蛇の非道版「英三千三百五十四排込海百五十四 となってあるが、米蛇の非道版「英三千三百五十四排込海百五十四

ある。このほどツ殿軍がポ

内地の取引所機構の改正と配行し一改作出資四分一、二百五十萬圈、

立、関取引所もこれに統合し、現

ってゐるが、「「然別土理」味識長は物出資せしめて發足することにな

オガ銀され、いづれも共英國京設 **静中である** この外隣艦、石綿、黒鉛及び最

しこれは建設 經滅力の 伸張と不 影響の秘密が急波なため交通が

然こくでは畜産物を相省際山提供

二同大陸巡絡帝議はその目的を十 戦略の布職に更に所命を入れる第

度になったことを意味し、決議突しれば、

人堕路地域間に於ける変通河域の し大陸諸地域の積極的協力(三)

武料として戦ふ姿を紹介し限ちて

援助(II)大東亞威完隆に関

に合はぬので北支から年に統制祭

の御橋と散つた被國

深き照期の行りを踏

要性を廃訟させられるのである

加して参るのであつて、8々益々、昭人接種の重

の空を満界、英など

から、その居る所か

展取人並に図家において既著保護を加へつつある

年間二千五百萬民族意を設けて來

して、多額の御内配金を御下賜あらせられ、又既 る昭崩なる動脈を下し睨ひ、特に取人援護の強と

ら恋かに東方、韓國 時を以て各々の職場 においても午前十時 であるが、我が半期

ではなく、軍機利能

町も昭和十三年十月 三日には、軍人接撃に関す

れぞれ推成によって公平無私、夏

に府邑面政を類徴し得る選良の立一切つてゐる。然し一方非協協議員

候補をみたが選ばれた人々もよく

の立候補も投票日の近づくにつれ 展開され拡展候補者の聴燃は張り

唐制の重んぜられるべき食貼も 朝鮮には朝鮮の特殊がある、推

カの下に推取過級感激を整へ、そしい内が設力による新選級運動が出現の認識機は、このほど官民協一度を以て感過型に認みこうに要は

國班域に對し廿三日次の如く翻選 撃に對する半期二千五百萬民の心

職から拡成制の意識を耽き全群器 力を傾けるとになった。なは簡牛 な智板を以て必断態勢の確立に全

御心の程制に恐嫌感激に堪へないところである、

有難き思召を垂れさせ給ひつつあつてその大

てこの日を送るのみ ちなきやう様を正し

派り一個派生費し

も、その掛け方に過 に國旗を掛け、荀く また、この日は各日 けることになった、

物

複

致

し

て

以

來

取

場

に

勇

派

変

闘

す

る

將
士

の
上

に

、

を虹人接近のことに在がせ給ひ、最に支那事職が

迷はじ正しき投票

ので推成能も名を保持のため充分

活動態勢をこの職業なるモン の時に女陽生達のスツクと立統後も脱場の精神でスハ空間 心が本土空間を狙ってある、

> モンペ姿こそ配ちてし止まむ時代の脚光を浴びて登場した 時代は常懸御だ、御殿を捨て

の烈々たる類版の見ゆる銃後 -京城第二高女校門前】

学先起つて各協和育支部を中心と

凛々し

決戦下の

總務都長推薦選擧に希む

用意を捧げる

と共に取びに協き或は物

ぬ繭である、服事が擴大するに従ひ、又長期に日

の作職が繰退へされることは整倍しなければな

るに從つて、

征途に上る際兵の数は増し、さうし

れてあるのであつて、今後更に概念の激賦、概念がとなく難となく、戦る所に死闘地職が縁退へさ

は今や勝変質に敷千里に及ぶ勝大な地域に良り、

御親拜時、全鮮一齊に默禱

四に死力を傾けてをるが、生産増掘も豫期の通り

に撤まず例からず苦慮致してをりますことも事を

へして居るのである。 、耐米英間では、 開取以來相

である。然しながら『数も必死だ』といる概略の

本年こそ決戦の年と意面して、日本

本運動質能の趣旨は、一つに大東直載者決職下に

削級と銃後がピツタリー

今回婿頭神社の臨時大祭を機として、本日より四一

一十九日迄一週間にほって、全國的に『軍人接

一級で卵版力闘する將兵の上に想ひを建らせて削級、

銃後が一蹶となって

要性を強調した、以下放送の全文である「寫圖=放送する田中總隆」

機に起てくと、呼びかけ取人機酸の角

懲事加し來うたことを銘記し徹底的實理大性を認識すると共に印人接聽の發

の御仁慈は申すも以きぬみである

や腐然物長の上を設容され、東は脱皮明士の英盛皇后陛下に於かせられても、出他賦人の證潔族

を御弔励あらせらる、有難き御歌を賜はり、又御一

影の取人援政に垂れるせ給ふ御仁縣は、校惠に張

なく後継することが出來るのである。而も此の様

て、別に恐怖に蒸へない所である、以上の外、重由を偲ばせ給を御心かと罪察申上げる次第であつ由を偲ばせ給を御心かと罪察申上げる次第であっ

んで恢じまするに、

號は御手許に止めさせられ、陽勝軍人には第一 大明沓用優中時計を御下賜遊ばされて居るのであ

り下脚あらせられて居ると洩れ承つて居る、

も速かならんことを祈ってを得られた弱土の万々の、

称心に聞きれた第七の原起華公の選か

事意を擦げるとゝもに眠に傷つき或はこして敬華した概象の英概に敬意なる

不英間酸の

戦端が開かれてから

一年 **感謝を勘き、燃砂を励り、天翔で北洋**

いま葉機踏る九階

ぬるがこの物質に廿三日から一週間全世界の一部時大祭が前かに 執行されて

島の根を止める迄は解決しない戦で百萬民衆に勤し、大東亞戦争は米東

の蔵果に陶酔することなく常に威局のる、決戦曖昧に突入したこの際、過去

官邸から、敬波を通じ、約廿分間に良り日目の廿三日午後八時四十分から源陸

№個人接触に成で4と題し半島二千五

であつて、関係者一同、その有難を思召に威立勒

た次第である、島太后陛下に於かせられても、

揚してゐるが田中政務認能は運動第一

殿下を御差徴にに相成り、親しく解内堕海軍病院

の協誘將兵を御慰問めらせらるると共に、半島に - 三年の恩は 朝鮮に 對しても特に、東久邇宮紀 てをることは、

当さん細承知の通りである、

昭和 切らすな。眞心の弾丸

軍援の至誠に將兵强

総力を逮捕し大東亞版の完遂に翻進取の決意を敵々間化し銃後の士氣を歌

る隋河鴻計部時大祭を機會にも住が崎岡神社に合祀されたを聴國の英宗一萬九千九百八十

に整備福化することは軍部と ふ、軍人接顧の事業が年と共

こ人に亦くも昭和十三年十月

三日取人接題に関する歴史な

週間に自つて全國一

表するものである。 に平紫の官民各位の呼或と努して誠に意を強くするととも 今や大東亞競爭は決節段階 は理するだに誠に敬き、極み御命をも、垂れ給ひし、大御心 る射路を下し給ひ昆軍人機能 の欲として御内所金御下賜の

皇恩は鴻大無邊 築け鐵壁の銃後陣 り一般國民思想の戀化と被愛

むるの重人接触である り取としてはこれに對し真に 軍の構成員又はその家族であ 数者は過去及び現在において である、申すまでもなく被扱

一撃向大佐】 で次のやうに部つた【宮 のと、「宮」

際に町人協叛迎頭を展開せら

機宜に適した結構な企でと思

親子の皆感をもつて臨むのは 皆然であるが現時局下更に確

むれにより被援物者に環境 事業としては被援膨満に生業 念願するのである、また機能 を附與するが如く一層その頃 の不遇を克服し進んで競力

松軍人姿態の基底となる軍人皇恩は誠に個大無過であり今 援職扶與法も四月一日から改 せしめ得る所以となる 己なない とを以て積極的飛躍的に動さ たあふる

、熟蔵と不開の努力

る所以となり国族闘秘軍人 を対し名誉の家名を組揚す 構想に報ぜしむるの道となり履じ致せしめ、優暑なる ざるを新たに補ふ道となり り遺族には脳歿者の厭志を 談佐大地厚 御奉公の足ら 土質にまで駆取扶助をなし得 聴で指揮されるやうな背徳行 退<equation-block>されたは召集解除された者 被扱題者は家庭就等や風紀問

ては精神指導をその基調とす である、特に軍人接際に関し に国連算なきを押してゐるの 力配揚に將又統後國語の布陣

軍用員が増加するにつれて軍 就きたい、
戦争が長期となり 深きを要するのであり軍人 、接護精神は含す(日揚の 殿に對して率先範を垂れて

処骸下を全國各地の陸蔣軍病院に御善巡遊ばされ

親しく御慰問

あらせられ、或は又各宮

病院に行啓遊ばされて慶々協病將兵に御下賜あらせられ、且既々座海軍 手づから差かせられた脚帯や御菓子、間花等を、

には戦
戒、
兵器、
概食の
補給と同じく、
銃後の
耐 時兵の方々が、頭に後極の製なくその本分を十二 第一線に於て日夜報園せられつくある

私を捨て一旦な家を無にして戦って居られるので

あるが、この皇軍將兵の駿忠報國の精神に献する

素より皇軍將兵は民間魄の領極として己を空う 觸り出征將兵に對してのみならず、

にも恋気旺盛に、世界無比の新総なる政力を追喚がしている。と、鉄後國民の軍人巡邏の至既を以てしてこれ、東京上に、鉄後國民の軍人巡邏の至既を以てしてこれ、

日夜軍人「投源に手を、疑して参り、更に大東亞戰 召取人の家族に對しては、其の生活や生業的 ち第一級將兵の撤問破倒に努めると共に、出 数々の御仁慈 を隠して、支那喜以來聞 校の兒童や男女中等學生の真心のこもつた慰問文 とである。従って前級の將兵が一番退ばれる。 作らも、時を得て思ひを馳せるのは、故國の安否 「私ひ得るのであって、質心のこもった際間文や関 **涿郷を遠く離れた幾千里の野殿に於て、死生を** に置いて活躍せらるる将兵の唯一の心の機と

【水原電話】 呂爾遜員推閱委員會

水原邑議推薦候補

が良いのではない、質心の節つたものが一番良い 日常の生活に色々不自由をしてをられる方もか、 う、切に御腕ひ致す次第である。軍人披鞭のこと 後は夏に緊囲班側の皆さんが協力されて、 促來共勿論それは實行されてゐるであらうが、 して少くはないと

全を押し難いのであって、何といっても並人援悪は、政府や関係関係の商設だけでは、到底其の萬

各自の真心である、我が図古來の美風

面積二萬一千餘坪で半島産はもと 兩學徹長以下多数が出席して晴れ

【北京二十三日同盟】

右二册無代進

庄村研究所

一日然でついて

開催、國府参議後の新筒祭に開し

はじめ中國要人を招いて午餐商を め司令宣官邸に周訪湖特派大匹を最高指揮官は廿三日午後常時半か

本儲 會屬化學研究所

招待既経育を明さ、首相なか屋野

登記官長など出席して在任中の第

ラッカス 24日 24日

其ノ伽詳細ニ付テハ米語 一、出發豫定 後六時より賦石の首相官邸別餓に

労務者募集

が大人はいったかったかった。

日本に薬研究所

「東京総語」東係前相は廿三日生

の開所式を行ふ、同戦怨所は栽培

避懈中の装草研究所は腐々完成し

佐藤醫學、內腦法文

べく遊戲なき手配をすくめてゐる

岡村最高指揮官 周特派大使招待

新生の大地
新生の大地

悪難中の薬草研究所は腐々完成し鑑め盛り上る愛鰻の赤脈を抜端す城大醫學部がかねて海州醫に建設。問前級への慰問文態差など日常を

城大の齊州島研究所開く

結核

治

療の近道

薬草なら

何でも

■取人撥蹤稱師品級映雅の夕】 配を上映間九時半総了した【霜麗

的別の別ろ

ニュース、臘の母子派、わが恋の て開催・國民儀職についで千田府

の援戦が行はれるのである、そしてそれに政府や 戦勝の既に眺かしい結果が生れて來ると信ずるの 後の力が結集し、活が前級に反映して、初めて

大重要性を加へ來つたことを婉配し、之が徹底的 に戦局の重大性を認識すると共に、軍人援談 や決蔵的段階に突入して居るのであつて、米英の 止める密は解決しない報である、我々國

モンペの波々な… 酸に對する皆さんの御協力と、御宣行とを切に御 せられるに留り、所優の一蹴を申述べて、頭人援 願ひ致した次第である、倘無人

後結々徹底して日常澎湖なき取 とがあってはならないのであっ て、今回の『軍人接職権師即捌 運動の期間だけに終るやうなこ 遊戯の徹底的質器は、耐くも本 人援戦の實を駆け輝に削級銃後

の難く街頭を踏出 リと引縮った

選出終さねばならないと存 解戯回発、また現地の石垣を利用 かに大型の単版を栽培する傍ら真 して土佐価値や甲州価値を奨励し で細力観の一個を荷負って退しい お手傳ひ 遺家族宅へ 数の・川口

下在住の半部同脳な配くを受的と下在住の半部同脳な配くを受ける。 施を間近に控へた欧洲をもこめて 夜からのお話『英娘をし

と 兵職 医脱骨、脳疾院や 紋葉所類 気につき本日水崩が力差は、関係、低級の領域、 (数) 小説 (発用) 苦八郎 (発展) 一般 (発展) 「一般 (表現) 「一般

撃

ち
て

原因で、右のやうな症状の このギナンカプセルを明

期で呼ばれ 時間 が

新女性ホルモン(ギナンカプセル)

心説「大いなる祭」 作器柄 00(延) 浪花節 冒若 勝 数の一億が なか う う でこったり 女性が取みつとけると、先づ 変れ、妻を知り、他行他がた化され、そ その家庭 れどっれて、軽しり、東部 かえ、変れを思わるばかりか 毎月の生理などなり、さ Total Office of the state of

型では多ない。してのます。
「関係力」ケ月分 十三円 外地の専門、デバートにあり、中に対してのます。
「関係力」ケ月分 十三円 外地の専門、デバートにあり、同様は関係力とも発送の、対している。 公司























主催の下に廿三日午後七時半から整層京城府分會、日婚京城府文部 のタ』は京城府、府穂力跳、軍人接 びかける『重人巡覧補神品揚快並

府民館大陸堂に懐影二千名を集め 総務部長の挨拶あり、終って映覧

皇軍勇士へ感謝の設を探げませう

軍接精神昂揚映畫會

循環を良くずれば、半日る 小兒科内科 橫山醫院 養金町六丁目電停南 |医学博士構山久猿 | 電話東局ニニー六 | 入院 應 需

液を淨化して」

濁

りが原因

同血壓神經痛は

器の蝦形配納に大豆と | 悠宮は暗部は目、 軍・国国間野が火の玉とな | になった「宮倉=和信の観彩館巻]

援運動に寄附

献金として 唇託し

を訪れ、金五十回

平場、新式、明體料式等。

《年龄月》的在九日之一。 《日本》中,《《日本》中,《《日本》中,《《《日本》中,《《日本》中,《《日本》中,《《日本》中,《《《《日本》中,《《《《日》中,《《《《

ザツミー千餘點集る

國女性です。これは働かですがお

和信の鍮器献納

を越え廿二日平塚着、夏レき縁買

サツと一千候點が積み上げられ 公幹あり、祖先原來の真微器あり

尊しこの警防魂

十七世紀

愛見の死を秘して活動

りその頃命を繰した数弦響防御員、村間五分職基から東大門器に無へからぬ。と起後まで醫院任務に皆、とつてゐた。この立派な行為は大

氏で、偶々一ケ月前から娘原盛ち **極防開第五分國前防部長金谷弘展**

させてゐる

顔死の狀態に陥った、而し金谷さ

宁賀氏は五十銭銀四二枚、十銭二 内東天里居住(平墳駅新員)貴田

玄米。完全消化上

市本 ニュース

水田 選し き 草 関 國 関 記門

1000 8

II OCA X

健錠

動力付五十年経度場所が区でき

寶來 商會

宋八昭和西八年参月参日先

民和活八年 阿月 加井

和治八年歌月七日左ノ香秋はス保武の日本大帝の日本大帝の日本大帝の日本大帝の日本大帝の日本大帝の日本村の八年歌月の名

本局七五七六番

費田氏の誠(黄州)門

校、一艘網貨五枚計五四四十銭の ンケル貨三十七枚、岡五螺貨十三 最期まで叫んだ憧れの鮮鐵へ

,寫眞入局

11

軍援精神昂

二號型(五行)

僚友に護られ 玄海を渡る

南山天満宮の春祭

課長以下幹部一同、一日賊死の醤 この第一日京畿道盛務課では四島 小さな手で忽ち八千本

府内學童二千名の植樹

た、リギタ松やシベリア様

が金色に光る、植気終へた子 V相承られた苗木の一本一本

昌慶苑で開催

京日案内

獨唱(馬金哲)愛闕の花、燃 **劇民皆唱(指揮大場勇之助)**

國民皆唱(指揮宮本吉雄)ア

曹某ホテル

國民合唱(全員)擬行かば

一號型(三行)

合唱 (京城退野合唱團)



第一回分十七四廿錢を防空費に、 るたが、軍役の捌退動の第一日 ・の方には東子 | 會場)で開催・個似型形に身をさった。 (第十會場) 六階 (第二



しみくと感謝の念を新たにせし

春の街を荒す不良少年を一掃しよ し鈍路艦司法係では去る廿三日

颯爽、モンペ姿の花見

を行うた。郷、前級に在 の記念、ベッと呼いたる の記念、ベッとのいた。 の記念、ベッとのいた。 の記念、ベッとのいた。 の記念、ベッとのいた。 の記念、ベッとのいた。 の記念、ベッとのいた。 の記念、ベッとのいた。 のことのいた。 のことの、 のことの。 のことの

四。五日が見場、銃を出ん

内いたるところの名所も甘

總器宮、碑宮愛道など









時男君の綴方 建設鴨緑である











中では、 ・ では、 ・ 論程度弱。配應力減退 後等格念。頭痛胃凝

外科コムラ病院 発料コムラ病院 素が変調・計画を表表での) 大院随意・暗画原室





審 社會式株 錦本ンイフトード玉赤

科拉八年成月凉站五



で宮臓院上岸路相は左の如き川示

午後一時より爾工省關係事項

重點生産に邁進

生必品を確保せよ

會長部濟經

が係は、鈴木宮司以下水酸に加みるうち年前九時医療単隣

ち下所すれば、つついて陸が 出現を握つて理職、終つて東

畏くも勅使御差遣

日はコレヒドール階落一周年記記法表ってより一年、來る五月

儼たり西

過ぐる昭和十三年六月皇田慈鶴「屋の直只中、〇〇紫藤家本部とあ」い丘の観測所に案内される。

藤本。

御説明申します

新安

く完成

心 Ø 行 <

獨空軍東部戰線で猛威

~ 菌臭勞 殺 中 ロ 熱 疲 の 心 消腦機 口口身



は正装して出迎へる バブア人(アルフ 佐藤 侍從武官ニユーギニヤ實視―寫眞

洋威事を等別に附してゐるもので だが、ロンドン來館によれば副首 不瀬思擬に領起となってあるやう

接收占領 軍事施設を

局は反個轍軍の欧洲第一主義に対 する流州、ニュージランドなどの

東亞を等関視せず

英副首相、濠洲に釋明

東條內閣再發足®

中である、勿論職事物養以來國家

に集中されねばならぬ、ここに内

三位一體清新の氣注入

擧國體制更に强化

【ソフィヤ廿一日同盟】新田ロー

援助惜まず ン諸國へ

ソフィヤで 日高大使語る

配するやうなことがあれば、そ 【イスタンプール廿二日同盟】テ

問腸 東京-大阪 田 遊 商店



電品び全 総関有威 明れ名本 が が はに 育店 医り及 は枝思君は なだが下さい 頭はボケる 古便の毒で 胃腸は狂ひ 一般のでは、 のの動きを近ばす語り での動きを近ばす語り 無一代進星星線 特に許されたこの薬名を閲覧になっただけでも、こ、薬族・方の、情報を表し、栄養をつける。これ、これがお分りのことと思います。これがお分りのことと思います。これがお分りのことと思います。これがおかりのことと思います。 四五十日、三四、五個(栗店にあり) 發賣さる 明新地域二八章 博尔兰人名 3 るが、出切ると対から脚 断腕が低氏的部1~脚部 となる。火の機た人は一 〇下物のくせに出しぶる人

を楽した朗殿部隊は

別・わが子、わが父、

迎へる招速の後に過

半島遺族に賜謁 懇ろなる御言葉を賜ふ

(日) | 一台に分派、日比谷

出發、東京市館の好意による

て最も単純を置くべきもの (第一類) 國家的行事とし

針

るものと同様問題と協議対応方決定するもの 節要なる 斉伽記総日及観民運動【第二一類】 職爭遂石上喧喪

生二月八日) 朝鮮に於ける

大東亞城等記念日(

光榮に報い奉れ 靖國大祭に陸 選「同一門記念日 | 一門記念日 | 一門記念の日 | 一記念の日 | 一門記念の日 | 一記念の日 | 一記念の日 | 一記念の日 | 一門記念の日 | 一記念の日 | 一記

2.1 日警別遺族に割する。成例のた【東京電話】婚國神社城時大奈の 世二日午後二時中から東機師 伝金場合所に、それじむさ 第三部線合製に、環田大祭委 ・畑田科相は淡田が、東部第

儼

た

IJ

わ

が 防

空 陣 [4]

見事命中 〇〇にて

東證券株式會

6.



いめて後、昨夜慢しの御娘飛り 一般、ホテル日本に長途の疲れ 入卧来亡人イチヱさんにじめ 柱の沿族部隊は小石川の大 ら新しく合記された英豪百 遺族が語る社與對面の感激

胸は迫るその

行事、運動は重點 年間の豫定發表さる

消にも起ってゐたが、總徴 脚でも の不養は 脈出男子母や は 脈側の 一 により逐次増加しこれがため複雑。を駆けることになり、廿三日堂本

はを入れ運動行事の調

VC

文三 望本情報

機線は(四月三日) 機線の日(四月二日) 人際日前祭日 (新月時末足) 人際日前祭日 (新月二十十日) 人職の司祭日 (大月二十日) 人職祭司 (九月二十日) 人職祭司 (九月二十日) 人職祭司 (九月二十日) 人職祭司 (九月二十日)

長らの赤誠軍援へ女班

營御用材木曳式

愈々あす盛大に擧行 配一廿四日第一回御遊荷率以祭につつ

はれ、御川がは郷地扶除に避ばれいて床しくも極か な 木曳式が行 ら昨秋はるはる海を渡つて死た大

酸の脚段、混乱の二年、邪難を

●乳汁分泌不足にヘミスト くしまゝつは調色 ノ美康健はえ榮來出 日ン注◆職科 高級

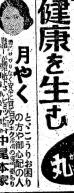
京東・阪大・台商泰三

のである。途中、極めらばすぐか

で、わざと御邊たち一架に駆躍せんもの









田原株式店現物部



絶たう後顧

事業援護、座談會

今年は戦車だ、

米大統領の三男殿らる 敵身的指導率仕によって駆材され

トルコ内相令息が膺懲の鐵拳

出席者の一行と連絡會議

郷土が一世命を奉じて断載した場際者があるが、これら製売出身の

三日から廿九日末で至國一熈に世

を機として廿八日午後二時から同 唱される「戦人接越精神が接続動」

(イスタンプール廿二日间盟)ア 一家を願いたので、電闘家の彼は即

。 「ジャカルタ廿三日園盟」ジャワ が、 の内の治安を職保し職時下防薬お で、 の内の治安を職保し職時下防薬お 防團を結成 ジャワに警

知其巨大

けふの市況(共三日)

の鉛なる作威の個へにかくつた。 野寅も心をとり値しさらばとそ の猛闘を加へてゐたのである。 孔明はその頃、韓の内へ趙鋭と一般に向った宮の張麗、張淑なども たりして、兵をそろへ、日興一そして全器形を扱の域としてしま

の都督曹寅出でよ、と呼び出し、

矢野 橋村()



あらゆる血行障理 NO袋 1·HO 100蛇 11·勝血管の病的緊張と痙攣を解 行障碍による頭

後

國

調整す

和明は羽城をあげて、双孔明は羽城をあげて、双

